

同窓会による教育支援 「就職前社会人支援講座」の開催報告

本学同窓会「松丘会」よりご支援を賜り、令和元年12月11日（水）に、卒業学年を対象とした「就職前社会人支援講座」を開催しました。講師は株式会社キャリアプランニングの矢野 純子さんで、「社会人としての心構え」「基本のマナー」「ビジネス電話の基礎」「仕事への取り組み方」についてご指導いただきました。以下に受講後の学生の感想を掲載し、ご支援へのお礼に変えさせていただきたいと思えます。

「就職前社会人支援講座」を受講して、社会人になる心構えを持つことができました。学生は教えてもらうことが中心であるのに対し、社会人には自ら学ぶ、自ら考える、自律意識を持つなど、自分自身が主体的に行動することが求められると知りました。「教えてもらって当たり前」という考え方は社会では通用しないため、まずはこの考え方から改めていかねばなりません。

また、社会人には、挨拶ができること、素直に人の話が聞けること、公私の区別ができること、約束が守れることなども必要であると学びました。挨拶ひとつをとっても、声のトーン、表情、姿勢、お辞儀の仕方など、気を付けなければならないポイントがたくさんあります。私は普段から挨拶をすることを心掛けていますが、ただ挨拶をするのではなく、相手や周りの方が不快な思いをしないように、今回教えていただいたポイントに気を付けて、最低限のマナーとして良い挨拶ができるようにしたいと思いました。

卒業後に看護師として働くために必要なマナーを学ぶ良い機会をいただき、ありがとうございました。
(看護科 3年 澄田 祐華)

「就職前社会人支援講座」を受講して、社会人としての心構えやマナーについて学ぶことができました。

まず、心構えとして、挨拶の大切さや自ら学び考える姿勢を持つことの重要性を痛感しました。気持ちの良い挨拶を行うことで、職場内の雰囲気や人間関係がより良くなることが分かりました。また、自身の印象にもつながることを学びました。自ら学び考えることも積極的に行い、社会人としての自律意識を持ち、医療福祉に貢献していきたいと強く思いました。

マナーについては、動作や言葉遣いなど、まだまだ未熟な面が多くあると改めて感じました。就職してからマナーを知るのではなく、今から理解しておくべきだと感じました。

今回の講座で学んだことを生かし、普段から挨拶や態度に気を付けてきたいと思えます。社会に出てからは、他者を支えることができるよう努力し、成長していきたいです。

(医療介護福祉科 2年 志茂 夏海)